

『里山資本主義』から5年 いま地域で何が起きているのか

Japan Times Satoyama 推進コンソーシアム シンポジウム 2018

日時：2018年5月16日(水) 13:30-17:30
(受付開始：13:00～)

参加費無料

会場：都道府県会館(東京都千代田区平河町2丁目-6-3)

参加申込み：<http://satoyama-satoumi-symposium.peatix.com>



本シンポジウムは、多くの自治体や企業、また里山・里海で活動している実践者の方に本コンソーシアムの趣旨をご理解いただく機会を創出するとともに、国内外のキーパーソンによる最新事例などを共有し、実践者団体による活動の励み弾みにすることを目的としています。

今回は、『里山資本主義』の著者、藻谷浩介氏と、『里海資本論』の著者、NHK エンタープライズの井上恭介氏による「なぜ、里山資本主義を世に出したのか？」をテーマにした対談セッション、自治体首長による「里山からの新しい経済活動の始まりの可能性」をテーマにしたパネルセッション、「女性活躍 x 里山」をテーマに女性里山里海実践者の方々によるパネルセッションを予定しています。

プログラム

開会・主催者挨拶 (13:30～)	末松 弥奈子 (コンソーシアム代表 兼 ジャパンタイムズ会長)
来賓挨拶	小林 史明氏 (総務大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官) ※予定
オープニングセッション	対談「なぜ、里山資本主義を世に出したのか？」 藻谷 浩介氏 (日本総合研究所 調査部主席研究員 / 本コンソーシアム運営委員会 アドバイザー) 井上 恭介氏 (NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー / 本コンソーシアム運営委員会 アドバイザー)
自治体首長セッション	パネルディスカッション 「里山からの新しい経済活動の始まりの可能性」 モデレーター：栗山 浩樹氏 (NTT 取締役 兼 新ビジネス推進室長) パネラー：湯崎 英彦 広島県知事 鈴木 英敬 三重県知事 (本コンソーシアム運営委員会 副委員長) 仲川 げん 奈良市長
実践団体のセッション	パネルディスカッション 「女性活躍 × 里山 / 里海」 モデレーター：松嶋 匡史氏 (瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役 / 本コンソーシアム運営委員会 委員長) パネラー：石野 智恵氏 (広島県倉橋島ちりめん網元 石野水産) 坪内 知佳氏 (株式会社 G H I B L I 萩大島船団丸 代表取締役) 大島 奈緒子氏 (ようび建築設計室 室長 建築士)
閉会	
懇親会 (17:30)	都道府県会館 15 階「喫茶カルム」にて立食形式で実施予定 (会費 3,500 円) 懇親会に参加ご希望の方はイベント申し込みの web ページから懇親会付きのチケットをお申込みください。

※予告なくプログラムが一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催：Japan Times Satoyama 推進コンソーシアム
後援：環境省、総務省、全国町村会

登壇者プロフィール



藻谷 浩介
日本総合研究所 調査部首席研究員
Japan Times Satoyama推進コンソーシアム アドバイザー

(撮影 = 青木優佳)

山口県生まれの53歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外90ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著に『デフレの正体』、『里山資本主義』(KADOKAWA)、『金融緩和の罠』(集英社)、『しなやかな日本列島のつくりかた』、『和の国富論』、『観光立国の正体』(共に新潮社)、『経済成長なき幸福国家論』(毎日新聞出版)など。



井上 恭介
NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー
Japan Times Satoyama推進コンソーシアム アドバイザー

昭和39(1964)年生まれ。昭和62(1987)年東京大学法学部卒業。同年NHKに入局。報道局、大型企画開発センターなど、一貫して報道番組の制作に従事。平成23(2011)年から平成26(2014)年まで、広島取材班のチーフ・プロデューサーとして広島市に在住。著書は「ヒロシマ 壁に残された伝言」「マネー資本主義」「里山資本主義」など。



湯崎 英彦
広島県知事

1965年広島県生まれ。東京大学法学部卒業後、90年通商産業省(現経済産業省)入省。1995年にはスタンフォード大学で経営学修士を取得。通商政策局米州課課長補佐を経て、2000年株式会社アッカ・ネットワークスを設立、代表取締役副社長に就任。通信の改革に取り組み、日本のインターネット基盤の確立に貢献する。2009年11月から広島県知事を務め、現在3期目。



鈴木 英敬
三重県知事
Japan Times Satoyama推進コンソーシアム 副委員長

1974年兵庫県生まれ。東京大学経済学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。2011年三重県知事に当選。2015年再選し、現在2期目。内閣府少子化危機突破タスクフォース構成員、中央防災会議委員、全国知事会危機管理・防災特別委員会委員長、日本忍者協議会会長、子どもの家庭養育推進官民協議会会長等に就任。2014年度世界経済フォーラムヤング・グローバル・リーダーズに選出。2016年6月「ベスト・ファーザー・イアローリボン賞」を受賞。家族はシンクロナイズドスイミング五輪メダリストの妻・武田美保と一男一女。



仲川 げん
奈良市長

1976年奈良県生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発市石株式会社及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。入札制度改革や土地開発公社の解散、ごみ行政の刷新など様々な市政改革に取り組む。1300年の歴史を有する日本のルーツとして、世界から尊敬される都市をめざす。現在はお茶の祖である村田珠光をテーマにした大茶会に力を入れる。AERA「日本を立て直す100人」に選ばれる。2017年5月から中核市市長を顧問。現在3期目。



栗山 浩樹
NTT 取締役 新ビジネス推進室長 兼 2020担当

東京大学法学部卒業。ペンシルヴァニア大学 ウォートンスクール修士課程卒業(MBA)。1985年、日本電信電話株式会社(NTT)に入社。営業・販売、営業企画、事業計画、人事・人材開発に携わる。2003年に経営企画担当部長として「NTTグループ中期経営戦略」の策定、対外交渉に従事。2014年に取締役 新ビジネス推進室長 及び 2020準備担当に就任。2020年東京オリンピック・パラリンピック、地方創生 及び グループのB2B2Xビジネスの推進を所掌。オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の運営委員会座長のほか、総務省、経産省、内閣官房などの2020関連の委員(現任)



石野智恵氏
広島県倉橋島ちりめん網元 石野水産

広島県最南端のちりめん網元に誕生。大学卒業後メーカーに就職憧れの都会生活をおくるも、違和感を持ち。結婚を機に、子供を育てるのは育った田舎、子供に自慢できる家業と考え帰京。思っていた以上に厳しい販路、実績。ないものばかりの現状であったが、漁を行う弟と二人三脚で、行列のできる販売、3000個限定販売で倍以上の受注、商品の価値を伝え単価アップ等、メディア取材も多数。現在二児の母として「次世代へ伝承」という志で日々活動中。



坪内 知佳
(株式会社GHIBLI 萩大島船団丸 代表取締役)

1986年福井県生まれ。2010年秋田市で翻訳とコンサルティング業務を行う事務所を設立。同年10月に漁業の世界に飛び込み、翌年には約60人の漁業者をまとめ、萩大島船団丸を設立し代表に就任。農林水産省に6次産業化の認定を申請し、同年7月に自家出荷を開始。漁師集団とともに、船団を「家業」から「企業」にするため、日夜奮闘している。「第4回女性企業家ビジネスプランコンテスト・地域未来賞」「WOMAN OF THE YEAR 2014」受賞、日経ビジネス「次代を創る100人」に選ばれる。2017年7月テレビ東京「カンパリア宮殿」出演。



大島 奈緒子
ようび建築設計室 室長 建築士

1児の母
1982年、大阪生まれ。滋賀県立大学卒業後、岐阜県高山市で住宅店舗等の設計に従事。2013年ようび建築設計室設立。10代の頃に、日本の山の問題に出会い、木でものづくりをしながら、未来を切り開くことをライフワークとしている。得意とするのは、対話を通じて、心や経営、地域の課題と「本当のニーズ」を導き出し、空間だけでなくプロジェクト全体に落とし込むこと。



松嶋 匡史
瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役
Japan Times Satoyama推進コンソーシアム 運営委員長

新婚旅行先のパリでジャムと出会い、高齢化率日本一だった周防大島に2003年ジャム工房を開業。耕作放棄地を活用し自社農業部を設立、また島内農家を巻き込み果実作りからこだわった6次産業を実現(農林水産大臣賞受賞)。島への移住者受け入れ活動をいち早く始めるとともに、地域の資源を活用し、地域に雇用を生み、地域の経済循環と持続化を重視した活動を展開。『里山資本主義』(角川書店)等で紹介されている。



- 活動指針**
1. 里山資本主義の実践者を支え、つなぎ、増やしていき、その活動を持続可能なものにしていくこと。
 2. 里山資本主義が、マネー資本主義のオルタナティブな選択肢として機能するようにすること。
 3. 里山資本主義への支援や関与が、企業や自治体等の国内外での価値を高める環境をつくること。

公式 URL <https://satoyama-satoumi.net/>

<p>参画団体</p>	<p>協力自治体 (順不同)</p> <p>※2018年4月1日現在</p>							
	三重県 岡山県 福岡市 小田原市 鎌倉市 豊田市 南相馬市 四日市市 高松市 大崎市 美濃加茂市 厚沢部町	鈴木英敬 知事 伊原木隆太 知事 高島宗一郎 市長 加藤憲一 市長 松尾崇 市長 太田稔彦 市長 門馬和夫 市長 森智広 市長 大西秀人 市長 伊藤康志 市長 伊藤誠一 市長 渋田正己 町長	長野県 埼玉県 千葉県 つくば市 逗子市 沼田市 熊野市 南足柄市 志摩市 前橋市 舞鶴市 周防大島町	阿部守一 知事 上田清司 知事 熊谷俊人 市長 五十嵐立青 市長 平井竜一 市長 横山公一 市長 河上敬二 市長 加藤修平 市長 竹内千尋 市長 山本龍 市長 多々見良三 市長 椎木巧 町長	熊本県 愛媛県 浜松市 山形市 伊那市 富山市 小林市 米沢市 福岡京市 小山市 長神石高原町 箱根町	蒲島郁夫 知事 中村時広 知事 鈴木康友 市長 佐藤孝弘 市長 白鳥孝 市長 森雅志 市長 肥後正弘 市長 中川勝 市長 中小路健吾 市長 大久保寿夫 市長 入江嘉則 町長 山口勇士 町長	広島県 福山市 奈良市 日南市 尾道市 三原市 中野市 佐賀市 三榮市 高山市 葉山町 邑南町	湯崎英彦 知事 枝廣直幹 市長 仲川げん 市長 崎田恭平 市長 平谷祐宏 市長 伊藤徳宇 市長 池田茂 市長 秀島敏行 市長 國定勇人 市長 国島芳明 市長 山梨崇仁 町長 石橋良治 町長